

1 「微差」を重ねて、夢を実現

7月1日、3年生にとって就職のための「求人票」受付が開始される日を迎えました。アフターコロナを見据え、企業の採用活動に関しても様々な変化が生じています。求められる人材となるためには、日頃どれだけ自分を高めてきたかが肝心です。2年生は1年後に、1年生も2年後には同じ時を迎えます。納得のいく就職がかなえられるよう、また、進学希望者も自分の夢の実現に向けて、地道にコツコツと「微差」を積み重ね、「大差」をつけていきましょう。



2 「もしもやりたいことが見つからなかったら…」

最近読んだ本に書かれていた内容の一部を紹介したいと思います。

自分が将来どんな職業に就きたいのか、どんな目標を持てばいいのかと悩んでいる人も少なくはないはず。

そんなときは、無理に将来の夢や目標を持とうとせず、いつそのこと、「今のところ、自分は将来何をしたいのかわからない!」と、まわりの人に宣言してしまった方がいいと思います。

まずは、「何をしたいかわからないんです。でも、やりたいことを見つけたいんです」と言っていれば、「その後、何かやりたいこと見つかった?」と気にしてもらえるきっかけになります。

また、本当に何をやっても楽しくないと思ったら、素直にそう言ってみる勇気を出してください。すると、親や先生、ときには友だちや恋人から、「あなたって、こういうことが向いているんじゃない?」とアドバイスをもらえるかもしれませんよ。

夢や目標を自分の内側だけに留めていると、他人もあなたに対し、どのようにアドバイスしていいのかわかりません。(だから、ないのであれ「ない」と言ったほうがいいですし、2つあるのであれば「2つあって迷っている」と口にしたらほうが絶対に得です。)

そして、夢や目標というのは、特に年上の人にこそ語るべきです。

つまり、年下の人に夢や目標を語るというのは、「ちょっとみっともないかな」と思えますよね。そりゃそうです。ところが、年上の人というのは、相談を受けると「自分は頼りにされている」と思って親身になってくれることが多いです。「なんとかしてあげたい」と、その人の気持ちが動き出すと、それによってまた何か動き出す可能性が生まれてきます。

ですから、先輩や先生、そして両親などに自分の夢や目標を一度語ってみてください。もちろん、大人であっても夢や目標ってありますよね。そんなときは、たとえば上司や、あるいは思い切って社長に、「自分はこういうことがやりたいです」と口に出して伝えてみてください。

ただし、大人の場合は、相談するときの大事なポイントとして、その夢や目標を実現するために、自分は今何をしているかということを確認に伝えなければいけません。

たとえば、見習いの料理人が「独立して自分のフランス料理店を開くのが夢なんです」と言ったとする。そのあと問われるのは、では、その夢のために何をしているのかということです。

そこで「フランス料理店であればフランス語が出来た方がよいので、フランス語を今、ゼロからやっているところなんです」と、すかさず答えるだけの準備ができているかどうか。それができれば、「あっ、こいつは本気なんだな」と、サポートする気を起こしてもらえはす。

逆に、いくら夢や目標を語っていても、実現のために何をやっているのか問われたときに、「頑張ります!」「精一杯努力します!などと根性だけで乗り切ろうとしても、その夢を本気で応援してくれるサポーターは現れないでしょう。

ひとつ確実に言えることがあります。

夢というのは、孤独じゃない方が叶えやすい。

自分の力だけではなく、いろんな人の期待を背負うことや、いろいろな人がチャンスを持ってきてくれることによって、夢を叶える道がより拓けてきます。だから、できるだけ多くの人に夢を語った方がよいのです。

上手に他人を頼ることも、立派な才能なんです。

(小山薫堂著『じぶんリセット つまらない大人にならないために』から)

3 科学技術高校に寄せられる期待

6月1日(木)、「令和5年度体育祭」を実施しました。梅雨の合間の晴天に恵まれ、全校生徒一人ひとりが、全力で出場する競技を頑張る姿が見られました。そして、その仲間たちを心から応援する姿に感動しました。今年は、保護者の皆様にもスタンド席から観戦していただき、受付を通過くださった方だけで568名の方々が、平日の日中にもかかわらず草薙総合運動場まで駆けつけてくださいました。

現在、8月2日(水)3日(木)に開催する「中学生一日体験入学」の参加申し込みを受け付けています。中学生が「入りたい」、保護者が「入りたい」、そして「科学技術高校を選んで本当に良かった」と思っていただけのように、『チーム科学技術高校』一丸となって、理想の学校を目指してまいります。

